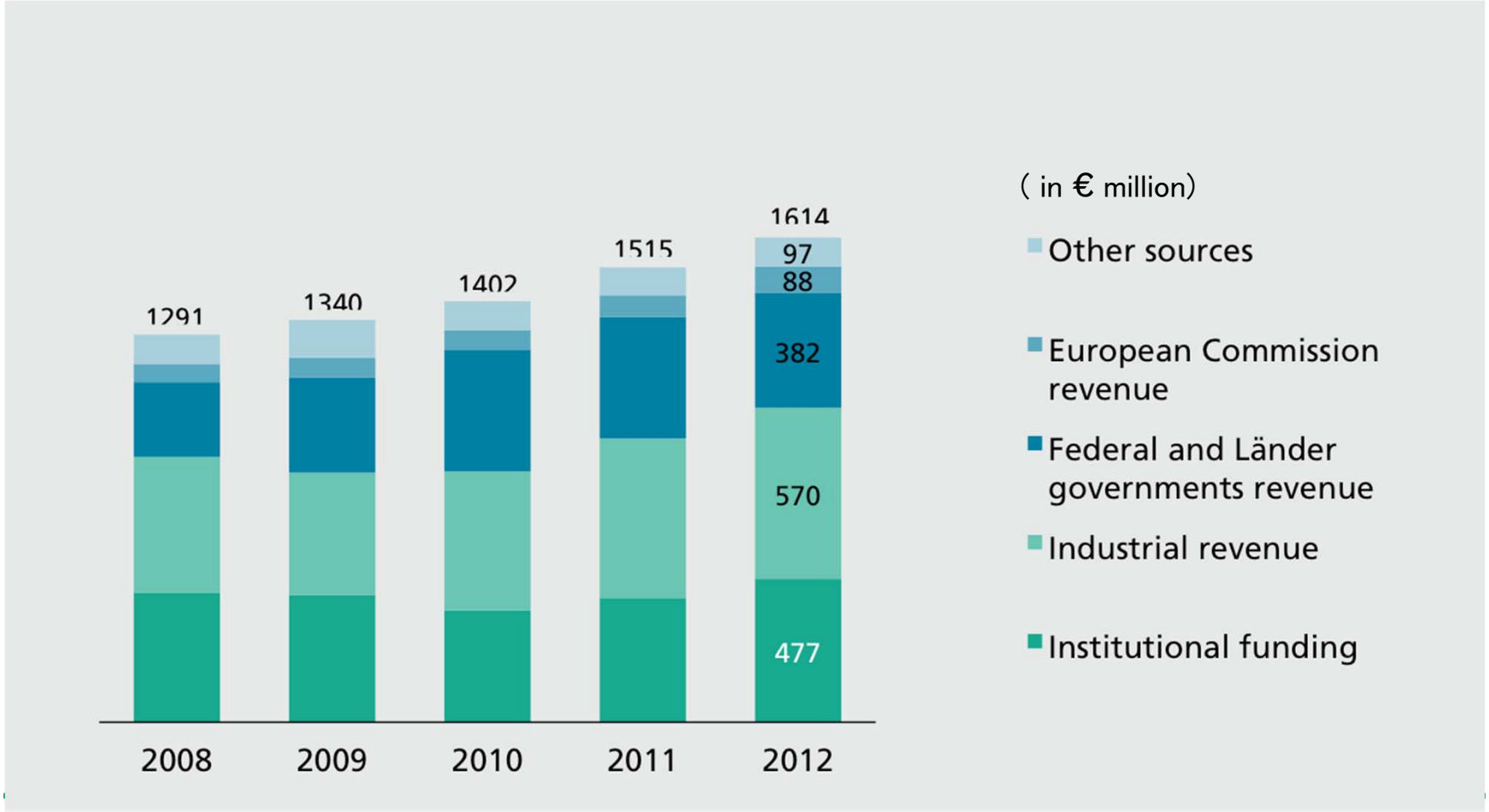
6. フラウンホーファー・モデルと人材の行方

産業界からの収入の企業規模別割合
250人以下：29%
1,000人以下：10%
10,000人以下：18%
10,001人以上：43%

収入構造



© Fraunhofer

Fraunhofer

いわゆるフラウンホーファーモデルとは？

Allocation of Institutional Funding

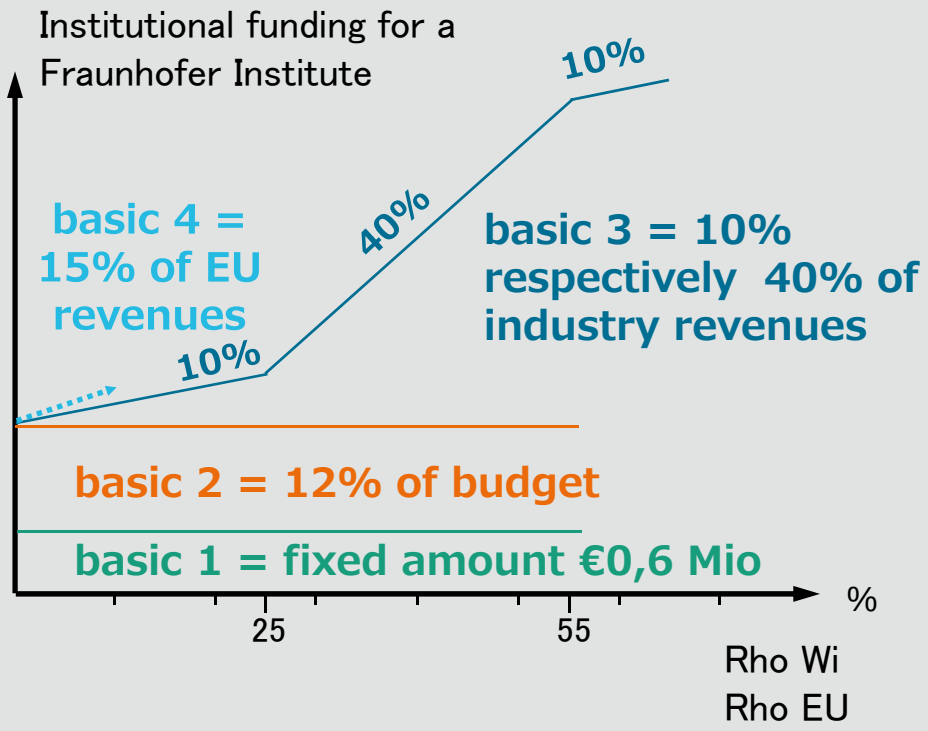
Allocation criteria for institutional funding

Basic 1: Fixed amount

Basic 2: Size of the operating budget

basic 3: Share of industry revenues

basic 4: Share of EU revenues

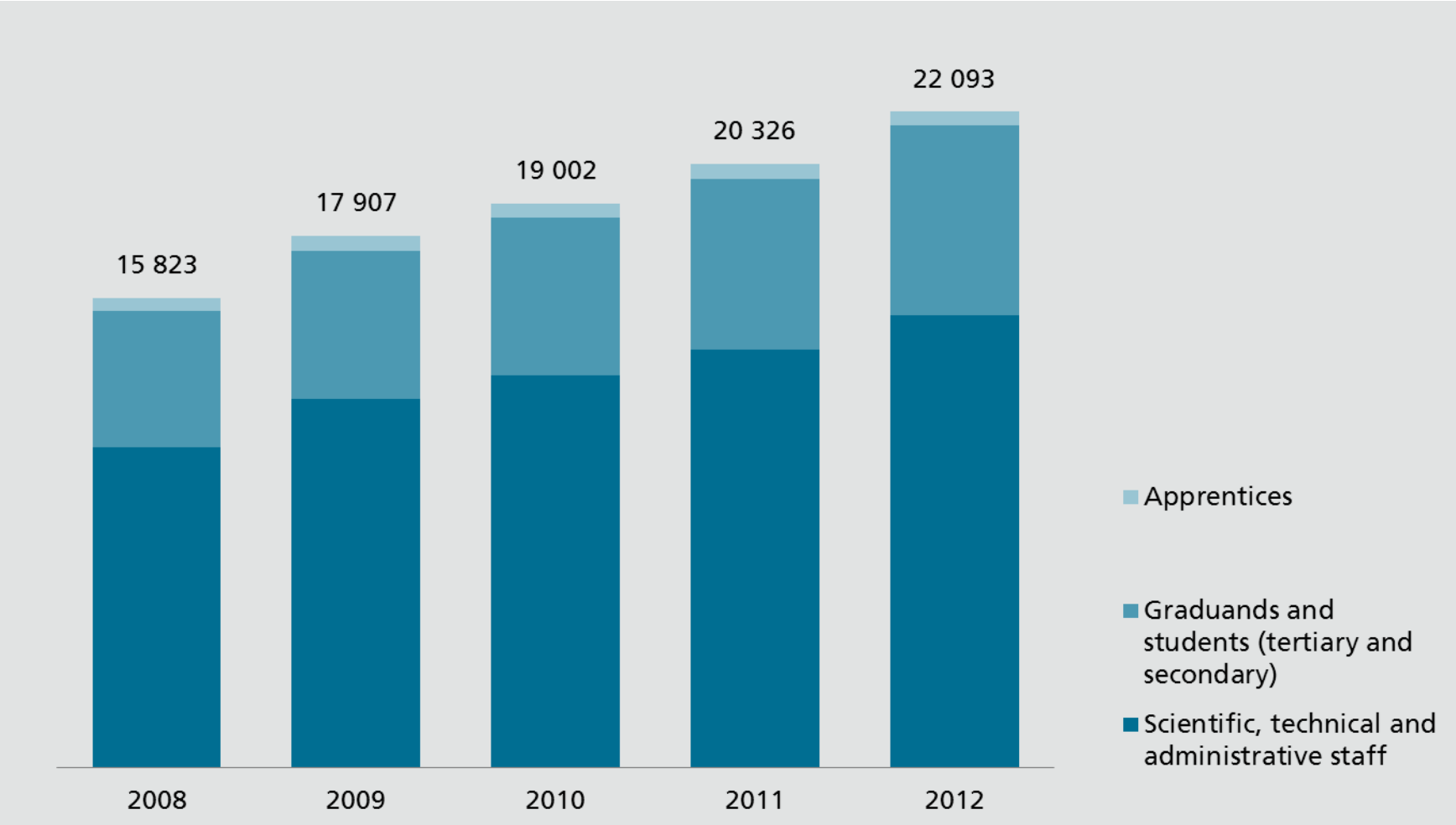


© Fraunhofer

Fraunhofer

People Resources

Including mergers / as of 31 December PA



© Fraunhofer

Fraunhofer

大学から産業界への知識移転における フラウンホーファー協会 (FhG) の役割

- コアコンピテンスは大学にある。FhG研究所は、大学の近くに設置
- 所長は、教授を兼務（全員）
- 教授との関係もあり、学生が研究所にくる
- 学生はFhG研究所のプロジェクトに参加しつつ、並行して、研究所で博士論文を書く
- 論文が完結するまで、５～６年かかる。
- 大学からの知識移転というが、大学自体の知識というより若い学生がアイデアの宝庫
- プロジェクトの遂行にあたるので企業との付き合いが深まり、企業家的発想を会得
- 学生にとって、本当の顧客と直接、議論できることが、FhG研究所の魅力
- 産業界から歓迎される人材に成長
- 学生（研究者）は、遅くても7年後には産業界に移動。研究所に残るのは1/4以下
- 労働法により、任期付職員の任期は、博士取得前は6年、取得後6年
- 契約は通常、2年ごと。プロジェクトの関係で、より短いこともある
- 結果的に、大学から産業界への知識の橋渡しが成立
- 彼らが将来の顧客となる可能性大。FhGのネットワークの拡大に寄与
- （企業からの受託プロジェクトで発生する知的財産権はFhGが保有、ライセンスする）

7. ハイテク戦略の評価法

ハイテク戦略
2006年　連邦教育研究省
省庁横断型
ファンディングからシステムまでを網羅

ハイテク戦略2020
2010年　連邦教育研究省
重点5分野
・気候 エネルギー
・健康 栄養
・交通 輸送
・安全
・コミュニケーション技術

研究イノベーション専門家委員会 EFI

Expertenkommission Forschung und Innovation

連邦政府により2006年に設置
連邦首相に毎年ドイツの研究・イノベーション
システムについての分析・提言書を提出
連邦政府は回答を作成

C STATEMENTS ON SELECTED TOPICS

C 1 THE CURRENT SITUATION AND DEVELOPMENTS

C 2 CONDITIONS FOR FINANCING INNOVATIONS

C 3 R&D AID IN THE FISCAL SYSTEM

C 4 EDUCATION, THE LABOUR MARKET AND INNOVATION

C 5 IMPULSES FOR THE HIGHTECH STRATEGY

C 6 GROWTH POTENTIAL AND CUTTING-EDGE TECHNOLOGY

Members of the Commission of Experts for Research and Innovation - EFI
Prof. Ann-Kristin Achleitner; Prof. Jutta Allmendinger, Prof. Hariolf Grupp (Deputy-Chair), Prof. Dietmar Harhoff, (Chair), Prof. Joachim Luther; Prof. Luc Soete (until 17.01.2008)